

令和3年11月17日

全国会長会議 会長挨拶

全国会長会議の開催に当たり、一言挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より全建の事業活動に深いご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。また、本日は何かとご多忙のところ、ご参集をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、10月5日の関東甲信越ブロックから、全国9ブロックにおいて開催して参りました地域懇談会並びに地方ブロック会議は、10月29日の北海道ブロックを最後に、無事終了することができました。今年は昨年に引き続きコロナ禍での開催となり、各ブロックの皆様方には、様々な感染防止対策を講じながら会議の準備・運営に当たっていただき、大変ご苦労されたことと存じます。ここで改めて御礼を申し上げます。

今回の地域懇談会では、全建として「コロナ禍を乗り越えサステナブルな地域建設業であるために」をテーマに掲げ、各ブロックにおいて、地域の守り手としての信頼性の向上や働き方改革の推進とともに、地域建設業がサステナブルに経営を継続していくために必要となる、公共事業予算の安定的・持続的な確保について議論を展開してまいりました。

皆様からいただいた、ご意見・ご要望につきましては、これを「国土強靱化・社会資本整備を着実に推進し、地域建設業がその社会的使命をこれからも果たしていくために」として取り纏め、先程開催しました理事

会において、ご承認をいただきました。

この後、斉藤国土交通大臣や自民党幹部の方々を訪問し、全国47都道府県建設業協会の総意として要望活動を行うこととしております。

皆様方からいただきました声が、国政の場や建設行政に的確に反映されますよう、引き続き、全力を尽くして参りますので、皆様方におかれましても、それぞれのお立場から関係各所において、積極的に声を届けていただきますよう、改めてお願いを申し上げます。

結びになりますが、本日ご臨席の皆様方のご健勝と、各都道府県協会並びに会員企業の皆様の益々のご隆盛・ご発展を祈念致しまして、私の挨拶とさせていただきます。